

安政東海地震における静岡県での火災被害

板東大生*(徳島大学大学院)・馬場俊孝(徳島大学大学院)

§ 1. はじめに

地震による被害には津波や土砂崩れなどがあげられるが、火災も多く発生している。過去に発生した歴史地震においても火災による被害の記録が多数見つかっているが、整理が不十分である。また、歴史地震による被害は古文書などに記載されているため、誰もが被害の内容を把握することは困難である。そこで本研究では安政東海地震において静岡県で発生した火災について古文書などから被害を読み取り、その特徴を既往研究(南,2022)と比較した。

§ 2. 研究方法

「収新日本地震史料第五卷別巻五一一」,「静岡県市史編纂資料第三巻」から静岡県における被害を抽出した。火災の記録があった地域の過去の地名と現在の地名を「静岡県の地名 日本歴史地名大系 22」で照らし合わせ地図上にプロットし、火災の記録が多く、延焼範囲が特定できた駿府城下の延焼範囲地図を「駿府名勝一覧之圖」,今昔マップを参考に国土地理院の地理院地図にて作成、特徴の詳細をまとめ比較した。

§ 3. 火災発生地域

静岡県では袋井市,掛川市,吉田町,田中城跡,駿府,清水町,三島市の 7 地域で火災が発生した。その中で詳細な記録が残されていた駿府(駿府城下町)の火災の特徴を既往研究と比較した。「新収日本地震史料第五卷別巻五一一」,「静岡県市史編纂資料第三巻」によると駿府城下町では江川町から出火し、西風により、西から東に火災が広がり、死者 51 人、家屋 507 軒焼失、寺社 1 社焼失、2 類焼(飛び火による一部損傷)の被害を出した。また、焼失した町は呉服町六丁目,江川町,新谷町,紺屋町,上下傳馬町,門前町,鋳物師町,壺所町,院内町,猿屋町,上下横田町の 13 の町であった。これらの記録と「駿府名勝一覧之圖」,今昔マップを活用し延焼範囲地図,当時の街並みの地図を作製した。延焼範囲は 0.142 km²で屋敷や水路、道路が焼き止まり地点となっている。

§ 4. 考察

既往研究と比較すると、駿府城下町,徳島市内町,小松島市,田辺市の 4 地域とも屋敷や水路,水辺が焼き止まり地点になっていた。駿府城下町は小松島市,田辺市と延焼範囲の面積がほぼ変わらず,出火地点も 1 か所であるが,延焼範囲が広く,出火地点が 3 か所もある徳島市内町と同じように死者が多く出た。

§ 5. 図・表

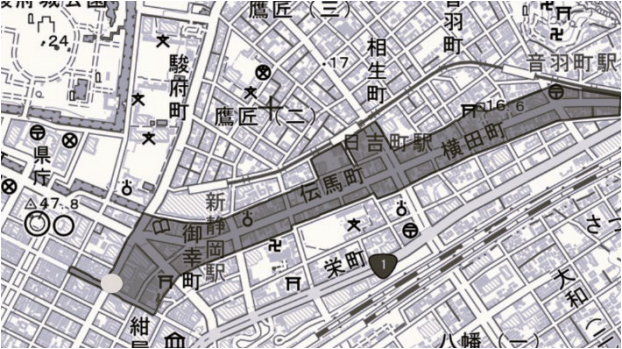


図 1 延焼範囲地図

	駿府城下町	徳島市内町	小松島市	田辺市
出火地点	江川町 砂張屋	キセル屋、 ソバ屋、紙 屋町	料理屋	漬家
風向	西	記述なし	北西	南西→北東
被害	507軒焼失 寺社1焼失、 2類焼 死者51人	死者73人、 怪我人131 人	348軒焼失 死者、怪我 人なし	家屋355、 寺社3焼失 死者1人、 怪我人多数
延焼範囲	0.142km ²	0.309km ²	0.163km ²	0.144km ²
鎮火までの 時間	不明	約23時間	約13時間	約38時間
焼き止まり 地点	屋敷、水路、 道路	屋敷、堀、 道路、水辺	寺院、堀、 道路、水辺	屋敷、道路、 水辺

表 1 駿府城下町と既往研究を比較した表